

プログラム	NEXT 産業創造	必修・選択	必修	単位	—	学期	夏期
科目群	基礎科目	科目名	AI：実践からビジネスへ			教員名	西田豊明
		(英文表記)	AI: From Practice to Business				

概要	2022 年末の衝撃的な登場以来、生成 AI の発展は留まることを知らない。情報収集、企画立案、プレゼンテーション、レビューを軸とする基本的な情報活動を越えて、学習、科学技術、社会技術、創造活動へと適用範囲は果てしなく広がっている。本講義では、AI を活用した小規模 DX の実践を軸にしたビジネス展開に焦点を当てて、人間と生成 AI の協働の基礎となるコモングラウンド論、生成 AI の小規模 DX への活用事例を基軸に、事業展開における生成 AI のパワーの活用の仕方について学ぶ。							
目的・狙い	生成 AI 技術を AI 研究の流れの中で捉え、生成 AI のパワーを使って人間の知的活動を強化するための基本原理としてのコモングラウンド論を学ぶとともに、生成 AI の小規模 DX への活用事例を詳細に観察することで、生成 AI の力を事業の中で活用するための実践面に関わる理解を深める。							
前提知識 (履修条件)	受講者はICTとAIについての一定のリテラシーを有することが望ましいが、プログラミングなどの実践的経験がなくても受講可能である。							
到達目標	上位到達目標							
	1. 生成AIを活用した事業展開を構想できる。 2. 生成AIの実力を知り、事業における生成AI活用の効用とリスクを把握できる。 3. 生成AIの技術動向を先取りするための視点を持てる。							
	最低到達目標							
	1. 生成 AI を活用した事業のメリットとリスクが理解できる。 2. 生成 AI を活用した事業モデルを理解できる。 3. 生成 AI の原理と活用法に関わる基本原理を理解できる。							
授業の形態	形態		実施	特徴・留意点				
	録画・オンライン授業		○	講義、ディスカッション				
	授業形態	講義（双方向）		○	総合討論を含む			
		実習・演習（個人）		○	各回のふりかえりや課題整理を求める場合がある			
		実習・演習（グループ）		○	意見交換や簡易ワークを行う場合がある			
	サテライト開講授業		-					
その他		-						
授業外の学習	講義内容について、あらかじめ配布する資料や指定文献をもとに予習を行うこと。 また、生成AIツールを実際に利用し、講義に関わる編集を自主的に行うことが望ましい。							
授業の内容	まず、AIの歴史的発展と現在の到達点を俯瞰し、生成AIがビジネスや社会に与えるインパクトを学ぶ。次に、生成AI立脚事業の可能性とリスクを、コモングラウンド論の観点から考察し、人間と生成AIの関係性を単なる代替関係ではなく協働関係として捉える視点を学ぶ。さらに、生成AIを活用した小規模なDX事例を題材として、「生成AIを業務フロー外のアドバイザーとして位置付ける」という考え方のもと、生成AIを活用した価値創出の実践面を学ぶ。最後に、AIを地域企業や新規事業にどう活かすかを総合的に議論する。							
授業の計画	回数	内容						
	第1回	AI をビジネスへ：今日に至るまでの AI（背景、今後の予想）						
	第2回	AI 立脚事業の機会とリスク：コモングラウンド論						
	第3回	FUJIN：私の生成 AI 活用法 - AI in outer loop -						
	第4回	まとめと総合討論						
教科書・教材	西田豊明. AIが会話できないのはなぜか, 晶文社, 2022.							
参考図書								
成績評価	講義・討論への積極的参加、および各回で求める振り返りや課題への取り組み状況を総合的に評価する。 目安としては、授業への参加・討論への貢献 60%、振り返り・簡易課題 40% とする。 なお、2 回以上の欠席は原則として認めない。							